

遊歩道案内図



百射山神社の参道の鳥居



その先に説明板があった



三輪山の遺跡群

三輪山は南北約1.2km、東西約1.1km、最高所は標高96.3mの半独立した花崗岩からなる丘陵です。

この丘陵を先人たちが利用しだしたのは約2000年前の弥生時代中期頃で、天理教三輪山分教会裏山遺跡や殿山遺跡などの小集落跡があります。その100年ほど後の弥生時代後期には、宮山を中心とした一帯をむらの墓地として利用していたようです。

しかし農業生産や手工業生産の進展と社会機構の変革は、平等であった弥生社会に支配者(首長)層を生みだしました。宮山墳丘墓や柳坪墳丘墓は、彼ら支配者層の墓と考えられており、規模や構造など、庶民の墓と大きな違いをみせています。その後まもなくあらわれる古墳は、そうした関係がより具現化したものです。

天望台古墳は全長55m、三笠山古墳は全長70mで、ともに前方後円墳です。4世紀後半頃から系譜的につくられた首長墳と考えられます。また各尾根上にある約70基の径10m前後の小古墳は、有力首長を支えた人たちの墓と思われまます。

6世紀代になると、古墳の内部構造に横穴式石室を採用するという大きな変化が始まります。この地域は横穴式石室を比較的早く採り入れた地の一つとされています。6世紀後半頃からは横穴式石室が各地で一般的となり、20基ほどがこの丘陵にも築かれたようです。

7世紀代になると古墳の築造は急減し、権力表示は古墳から寺院建築に代り、有力豪族たちは競って各地に寺院を建立します。

三輪庵寺は、そうした古代寺院の一つと考えられており、建物の基壇らしい版築層や古瓦の散布がみられますが、伽藍配置や寺域は

不明です。

百射山神社は、927年に完成した延喜式神名帳にその名を残す官社で、一般に式内社とよばれる古社です。

平成5年3月

総社市教育委員会



ここが百射山神社

 video



平安時代創建の、「延喜式」にも名を残している古社と云う

備中國一八社 式内社 百射山神社

御祭神

百射山神社

大山祇命（おおやまつみのみこと）

御相殿

御崎神社

吉備武彦命（きびたけひこのみこと）

御相殿

三輪神社

猿田彦命（さるたひこのみこと）


御相殿

大物主命（おおものぬしのみこと）

御由緒

御祭神大山祇命は、皇孫天彦彦火瓊瓊杵尊の后祀木花開耶
姫之命の御父神にて人皇第一代神武天皇御即位の節、南海
の道伊予國（愛媛県）大三島に鎮座される。後に命の御神裔
五田守國勝長狹命と宇津命は水軍を率いて吉備の島の賊
どもを平らげた。其の途中吉備の國百射の山島に御滞在さ
れた時に、御祖神大山祇命を奉祀されたのが神社の始めと
伝えられています。その後、戦災等で隣山の幸山へ奉移再
建されましたが、寛文十二年（一六七二）岡山藩主池田光政
公の命により、宮山の地に奉移遷宮され現在に至る。

百射山神社拝殿

 video



左手前が拝殿、右奥は本殿/右手から見たところ



これは木野山神社



こちらは七社水神宮



さて、ここから宮山墳丘墓を目指して登って行く



そこで、左手を見たところ



遊歩道となっているようだ



すぐに、宮山墳丘墓が見えて来る/帆立貝形の弥生墳丘墓で、後円部(正面)から前方部方向(左奥方向)に見たところ

 video



こちらは後円部を後方(北東側)から見たところ/築造時期は古墳時代発生期の3世紀前半頃と推定されている

[video](#)



劣化していて良く読めない/宮山墳墓群は弥生時代後期から古墳時代初頭の墳墓群で、石を箱形に組んだ箱式石棺・土を掘って埋葬した土壙墓・特殊な器台を棺に転用した特殊器台棺など多様な埋葬を行なった集団墓と、特別な人のために造られた前方後円形の弥生墳丘墓から構成されている

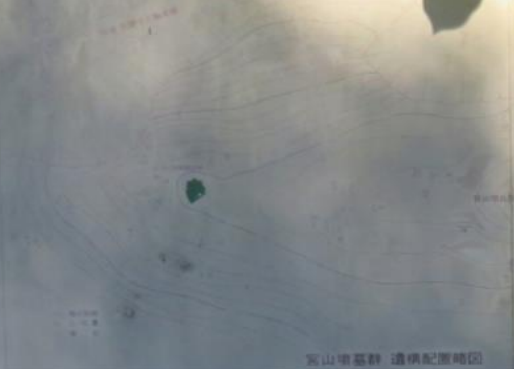
県指定史跡

宮山墳墓群

昭和三十九年五月六日指定

およそ一七〇〇年前の弥生時代末から古墳時代初め頃の墳墓遺跡です。全長三八メートルの墳丘墓と、箱式石棺墓・土壙墓・壺棺墓などで構成される「むらの共同墓地」です。東端に位置する墳丘墓は、盛土でつくられた径二三メートル、高さ三メートルの円丘部と、削り出して作った低い方形部をもち、全体として前方後円墳状の平面形をしています。この墳丘には石が葺かれ、特殊器台がたてられていました。円丘部の中央には、円礫や割石を用いた竪穴式石室があり、鏡・銅鏡・ガラス小玉・鉄剣・鉄鏃などが副葬されていました。おそらく「村のかしら(首長)」を葬ったものでしょう。これに比べ、周辺にある土壙墓や箱式石棺墓・壺棺墓などは規模も小さく貧弱で、「むらびと」の墓と考えられるものです。

このような埋葬施設の規模や構造、副葬品の相違は、当時の社会にすでに支配する者とされる者の差をうかがわせるもので、やがて首長が卓越した存在として村人に君臨し、巨大な古墳を造営する時代への歩みを示しています。



宮山墳墓群 遺構配置略図



宮山墳墓群の竪穴式石室

昭和六十二年三月

総社市教育委員会

後円部墳頂から後方(北東側)を見たところ/墳丘には石が葺かれ、特殊器台が立られていたと云う/抉られた竪穴式石室跡がある

[video](#)



反対に、前方部方向(南西方向)に見たところ/宮山型と呼ばれる特殊器台と同様の文様をもつ特殊器台が、最古級の古墳とされる箸墓古墳をはじめ畿内の西殿塚古墳・中山大塚古墳・弁天塚古墳から出土していると云う



今立っている後円部のすぐ先が帆立貝形の前方形(形が判然としないが・・・)で、その更に先(南西方向)に多様な埋葬を行なった集団墓が展開している



集団墓にはそれぞれ標識が立てられている/これらは土壙墓・箱式石棺・壺棺墓など規模も小さく貧弱で、村人の墓と考えられており、そして宮山墳丘墓は村の首長を葬ったものと考えられているようだ/埋葬施設の規模・構造・副葬品の相違からやがて首長が卓越した存在として村人に君臨し、巨大な古墳を造営する時代への歩みを示していると云う/標柱が立っている/南西方向に見たところ [video](#)



振り返って、宮山墳丘墓方向を見たところ

[video](#)



宮山墳墓群は、全長三八メートルの前方後円墳形をした中心埋葬施設と、それを囲む多くの箱式石棺墓や土こう墓からなる集団墓地です。

前方後円墳形の墳丘には葺石や特殊壺形土器・特殊器台が置かれ、堅穴式石室に埋葬するなど、周囲の小さな墓との差は歴然です。また、特殊器台は埴輪の起源に関わるものと考えられ、宮山墳墓群の位置付けを弥生時代とみるか、古墳とみるかなど、非常に重要な意味をもっている遺跡です。

土墳墓の一つ



壺棺墓の一つ



更に先(南西方向)にも標識が立ち並んでいる



こんな塩梅

 video



そこで、振り返って宮山墳丘墓方向を見たところ



さて、展望台古墳へと進もう

 video




前方が展望台古墳/三輪山頂部に立地する古墳時代前期(4世紀)築造の前方後円墳/西側から後円部を見たところ

 video



右手に標柱が立っていた

 video




全長約五メートル、後円部の高さ約四メートルの前方後円墳です。現地に見られる河原石や出土した埴輪片から、墳丘の斜面は葎石でおおわれ、円筒形や壺形の埴輪が立て並べられていた当時の姿が推測されます。後円部の中央には埋葬施設が存在すると思われ、大きく窪んだ穴が残ることから、すでに盗掘を受けているようです。

古墳は、前方部が細長く、低いことから、南東側に隣接する三笠山古墳（全長約七メートル）に先立って古墳時代前期（四世紀）に築かれたものと考えられます。

後円部の後方を見たところ



そこで、右手に後円部から前方部方向を見たところ

 video



後円部の墳頂に上り、前方部方向(南東方向)を見たところ/後円部の頂部には大きな穴が開いており、埋葬施設はすでに盗掘されているらしい/後円部に比べ前方部が低くて長いことから、古い様相をもつものと云う [video](#)



そこで、振り返って北西方向を見たところ



括れ部辺りから前方部方向を見たところ

[video](#)



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



これは前方部から後円部方向を見たところ/墳丘の斜面を覆った葺石は前方部側によく残っており、埴輪の破片も採集されているようだ [video](#)



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



同じく、振り返って前方部の後方(南東方向)を見たところ/前方部の先には、別の円墳が見える

 [video](#)



これは北東側から括れ部辺りを見たところ

 [video](#)



そこで、左手の前方部を見たところ



同じく、右手の後円部を見たところ




傍にはこんな石造物があった



これは前方部の先に見えた円墳/北西側から見たところ




これは南西側から円墳を見たところ

 video



その先に進むと、円墳を挟んで三笠山古墳が所在する/前方後円墳/宮山天望台古墳と同様の古い様相をもった古墳時代前期の古墳
/西側から後円部を見たところ

 video



後円部の墳頂に上って、前方部方向(南東方向)を見たところ

 video



そこで、振り返って北西方向を見たところ/向こうに見えるのが先程の円墳

 video



これは括れ部とその先の前方部を見たところ



前方部の後方(南東側)から前方部の墳丘を見たところ/墓石のようなものが散在している

[video](#)



これは括れ部辺りから後円部方向(北西方向)を見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



同じく、振り返って前方部を見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



これが葺石の名残と思われる



さて、三笠山古墳から更にその先の南東方向に進むと、円墳と思われるマウンドがあった

 video



こんな塩梅



配水池の脇を通過して三輪宮山墳墓群のあった丘陵の東側に出て、その丘陵を見たところ

[video](#)



参考ホームページ

https://www.city.soja.okayama.jp/bunka/kanko/shitei_bunkazai/ken/ken_11.html

https://www.city.soja.okayama.jp/bunka/kanko/shitei_bunkazai/ken/ken_12.html

<http://kamochi52.blog.fc2.com/blog-entry-39.html>

<http://kamadoneco.blog122.fc2.com/blog-entry-188.html>

<https://kofun.info/kofun/3915>

<https://kofun.info/kofun/1966>

<https://kofun.info/kofun/3914>

<http://tanimoto.travel.coocan.jp/tabi2/kibi12.html>

<https://jiniinchang.hatenablog.com/entry/38100238>

<https://kofunoheya.blog.fc2.com/blog-entry-2684.html>

<https://blog.goo.ne.jp/noda2601/e/fec382b32c719c2c272d04ae72004074>

<http://okayamanokohun.blog.fc2.com/blog-entry-33.html>

<http://okayamanokohun.blog.fc2.com/blog-entry-32.html?all>

